

令和 5 年 6 月 13 日現在

機関番号：32689

研究種目：基盤研究(B) (海外学術調査)

研究期間：2017～2020

課題番号：17H04512

研究課題名(和文)「想像の共同体」MexAmericaの構築をめぐる米墨の相克

研究課題名(英文) Conflict between United States and Mexico about the construction of Imagined communities MexAmerica

研究代表者

山崎 眞次 (Yamasaki, Shinji)

早稲田大学・地域・地域間研究機構・その他(招聘研究員)

研究者番号：70200657

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 13,000,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、MexAmericaというメキシコ系移民コミュニティが存在する米国南西部4州における米国とメキシコの対立関係を政治・経済・社会・歴史の4つの側面から総合的に研究するものである。その研究成果は、2017年～2020年の4年間、毎年論文・学会発表、シンポジウム・研究会開催において公開されたが、著書としては、科研費研究成果報告書「想像の共同体MexAmericaの構築をめぐる米墨の相克」(学術振興会へ提出)と「北米移民メキシコ人の移民コミュニティの形成」(東信堂)を刊行した。上記2冊の著書によって本研究の目的はほぼ達成されたと考える。

研究成果の学術的意義や社会的意義

米国のメキシコ系移民に関する先行研究の大半は、コミュニティ形成を米墨いずれかの視点から歴史的に叙述する傾向が強く、国境を跨いだ「共同体」という認識が欠如しているがゆえ、「想像の共同体」の形成および発展を体系的に検証するに至っていない。本研究はそれらの先行研究に対して米国とメキシコの両側から総合的な学術研究を行い、これまで考察されてこなかったメキシコ人コミュニティが果たす肯定的役割を発見した。この能動的な移民コミュニティの存在は米国内でしばしば軋轢を生み出してきた、同化主義、多文化主義、トランスナショナルリズムを超越する原理を生成するという社会的意義がある。

研究成果の概要(英文)：This research is a comprehensive study of the U.S.-Mexican rivalry in four southwestern U.S. states where a Mexican immigrant community called MexAmerica exists, from four aspects: political, economic, social, and historical. The results of his research were made public in papers, conference presentations, and symposium and study group meetings held every year for four years from 2017-2020, and two books have been published "The U.S.-Mexican Conflict over the Construction of Imagined Community MexAmerica" (submitted to the Japan Society for the Promotion of Science) and "The Formation of Mexican Immigrant Communities in North America" (Toshindo). With these two books, we believe that the objectives of this research have been largely achieved.

研究分野：メキシコの先住民と移民の研究

キーワード：メキシコ移民 移民コミュニティ 米国の移民政策 メキシコの移民政策 米墨相互依存関係 在外投票権 移民キャラバン トランプ政権

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

1. 研究開始当初の背景

メキシコは19世紀半ばの米墨戦争の大敗で、国土の過半を米国に割譲せざるを得ず、米国との軍事的対決は自国に有利にはならないと痛感した。その結果、防衛的反米ナショナリズムと同時に、隣国に対する劣等感、憎悪、憧憬という複雑な国民感情が生成された。MexAmericaは同戦争以降、漸次形成され、21世紀にはおよそ2,500万人のメキシコ系移民が居住する異種空間となった。このメキシコ系移民社会には2つの特徴がある。(1)陸路越境する非合法移民が多い(Wayne Cornelius, 1998)。(2)ヨーロッパやアジアからの移民と異なり、米国主流社会への同化が進まない。この第2の特徴に関して、Alejandro Portesは著書Latin Journey(1985)で、同じヒスパニック系移民でありながら、キューバ系移民がフロリダ州で政治・経済・社会的に成功しているのに対して、なぜメキシコ系移民の多くは米国社会において周縁的存在であるのかというパズルを提示した。そしてその答えとして、Robert Putnamのソーシャル・キャピタル(社会関係資本)論に基づき、資本の欠如と低学歴に加えて、社会的ネットワークが不足しているメキシコ系移民コミュニティの脆弱性を挙げている(Immigrant America, 2014)。

本研究は、上記のPortesの仮説に対し、メキシコ系移民コミュニティのアイデンティティの強固さ、生まれ故郷のホームランド(HL)との文化的紐帯の強さを非同化性の重要な変数として取り上げ、移民間の強力な絆こそが分離的で独立性の強いコミュニティの形成の主要因であると考察する。すなわち、メキシコ系移民コミュニティは米国主流社会に同化できないのではなく、あえて同化しない傾向があるという新しい仮説のもと本研究の着想に至った。

本研究の予備調査として事前にアンケート調査をロサンゼルス市の2つの移民コミュニティで実施した。その注目すべき結果は、アメリカン・ドリームを達成した白人系・メスティーソ系移民も米国社会の底辺で苦悩する周縁的先住民も自己を米国人と同定化した者はほとんどいなかったという点である。

2. 研究の目的

本研究では、メキシコ政府は分離的独立的移民コミュニティのエスニック性の強さに注目し、長年の米国の政治的圧力を回避する消極的外交方針から米国の移民政策にも影響を与えようとする積極的な外交方針へ1980年代から舵を切ったと推論する。その背景には北米自由貿易協定(NAFTA)の締結、非合法移民の増加、メキシコ軍・警察が麻薬組織の撲滅で米国に協力していることがある。

本研究はMexAmericaというメキシコ系移民コミュニティが偏在する米国の南西部4州(カリフォルニア、アリゾナ、ニューメキシコ、テキサス)における米国とメキシコの対立関係を政治・経済・社会・歴史の4つ側面から総合的に研究分析するものである。メキシコ系移民が米国主流社会に融合せず文化的に分離的傾向をもつがゆえに、メキシコ政府はそのエスニック性を利用すべく米墨国境をまたぐ越境的政治・文化的空間として「想像の共同体」を形成し、米国における政治的発言力を近年強化している。一方、米国の連邦政府と州政府の移民に対する考え方は一様ではなく、対応は遅れている。両国の移民関係の相克を多面的に調査・研究することによってMexAmericaという特異な移民空間の本質を解明し、今後の移民研究へ貢献する。

3. 研究の方法

1) MexAmericaという移民コミュニティの形成と発展の分析:

MexAmericaを構成する4州の国境近辺にある主要都市(サンディエゴ、フェニックス、アルバカーキ、サンアントニオ)とメキシコの2州(成功移民が多いグアナフアト州と先住民が州の大半を占めるオアハカ州)の市町村で人の移動、アイデンティティ、送金状況をアンケート調査する。この調査結果に基づき、両者間のトランスナショナルな越境的コミュニティがどのように機能し、発展し、集団的自己同一性を強化しているのかを分析した。

2) メキシコ政府の移民政策の調査と分析:

メキシコ政府が新しい外交政策を採用するに至った背景を、(a)外務省の資料、(b)外交官と新移民政策を促進し、在外移民の選挙制度改革に携わった国会議員への聞き取り、および(c)国家選挙機構(INE)の在外移民選挙権登録記録によって調査・分析した。

3) 米国の連邦・州政府、議会の移民政策の調査と分析:

米国における連邦移民法・4州の移民関連規程を時系列的に分析するとともに、米国の連邦議会と4州議会でのどのように法案が成立したのか、その政治的社会的背景を解明する。また、移民規制を緩和しようとするオバマ政権と規制強化を訴えるアリゾナ州などの対立など、アメリカの移民政策が一枚岩ではなく、統一した移民政策が全く進まない事実とトランプ政権の厳しい移民政策を検証した。

4) MexAmericaに関する経済分析:

移民コミュニティは、国境を越えた家族への送金を通じ故郷の親族の家計を支える一方で、「3x1プログラム」(連邦・州政府と地方自治体が3倍のマッチング基金を積み上げ故郷の社会インフラの整備をするプログラム)も存在し、マクロ経済への影響は大きい。1)のアンケー

ト調査によって収集した家計データ以外にマクロ経済データも使い、米墨の国境を越えた貿易財・資本・労働力の移動と存在する経済関連制度がトランスナショナルな移民空間を強化する役割を果たしており、MexAmerica の存在が米墨相互の経済・社会の中長期的な発展に役立ってきていることを経済学の視点から証明した。

4．研究成果

本研究の研究期間は 2017 年～2020 年の 4 年間であったが、コロナ禍のため 2023 年まで延長された。その間、19 本の論文（国内・海外の学術誌に掲載）を刊行した。また、日本政治学会での 4 回の学会発表（個人の国内・海外発表は除く）と 1 回のシンポジウム開催を実施した。その成果は科研費研究成果報告書【「想像の共同体」MexAmerica の構築をめぐる米墨の相克】（早稲田大学、2021）にまとめられている。また、一般読者に広く本研究成果を知ってもらうために「北米移民メキシコ人のコミュニティ形成」（東信堂、2022）を刊行した。これら 2 冊の著書には本研究成果のほぼすべてが掲載されている。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計15件（うち査読付論文 0件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 5件）

1. 著者名 山崎眞次	4. 巻 22
2. 論文標題 移民キャラバンに対するメキシコ政府の対応	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 ワセダアジアレビュー	6. 最初と最後の頁 65-70
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡辺暁	4. 巻 22
2. 論文標題 移民キャラバン—その背景と参加する人々の論理	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 ワセダアジアレビュー	6. 最初と最後の頁 59-65
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 前嶋和弘	4. 巻 22
2. 論文標題 トランプ政権の移民政策 ヒスパニック系移民に対する対応を中心として	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 ワセダアジアレビュー	6. 最初と最後の頁 70-75
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 前嶋和弘	4. 巻 126
2. 論文標題 3年目を迎えたトランプ政権の外交	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 インテリジェンス・レポート	6. 最初と最後の頁 17 - 26
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 前嶋和弘	4. 巻 67/1
2. 論文標題 中間選挙後のアメリカ外交	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 海外事情 (拓殖大学)	6. 最初と最後の頁 63-75
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 前嶋和弘	4. 巻 13
2. 論文標題 アメリカの政治的分極化	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 国際行動学研究	6. 最初と最後の頁 1 - 11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 前嶋和弘	4. 巻 48/11
2. 論文標題 アメリカ大統領とアメリカ	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 The English Journal アルク	6. 最初と最後の頁 10-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡辺暁	4. 巻 20
2. 論文標題 地方から見た2018年メキシコ大統領選挙 ユカタン州における選挙のようす	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ワセダアジアレビュー	6. 最初と最後の頁 64-70
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡辺暁	4. 巻 49/1
2. 論文標題 メキシコ・ユカタン州からアメリカ合衆国カリフォルニア州への移民 マヤの人々による「移民の市民社会」構築の試み	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 社会科学（同志社大学）	6. 最初と最後の頁 未定
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鷲津明由	4. 巻 44
2. 論文標題 住宅の省エネ改修がもたらす社会経済効果の分析 計量経済学的手法を用いて	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 住総研研究論文集	6. 最初と最後の頁 157-168
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山崎眞次	4. 巻 20
2. 論文標題 メキシコの新移民政策 マッチング・ファンド「3x1プログラム」の課題	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ワセダアジアレビュー	6. 最初と最後の頁 48 - 55
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 吉野孝	4. 巻 20
2. 論文標題 トランプ政権の新移民政策とその効果	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ワセダアジアレビュー	6. 最初と最後の頁 56-65
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 渡辺 暁	4. 巻 20
2. 論文標題 マヤとサボテコのロサンゼルス カリフォルニアに住むメキシコ先住民の社会	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ワセダアジアレビュー	6. 最初と最後の頁 40-47
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Satoshi Nakano, Ayu Washizu	4. 巻 19(3)
2. 論文標題 Changes in consumer behavior as a result of the Home Appliance Eco-Point System: an analysis based on micro data from the Family Income and Expenditure Survey	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Environmental Economics and Policy Studies	6. 最初と最後の頁 459-482
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Satoshi Nakano, Sonoe Arai, Ayu Washizu	4. 巻 19(3)
2. 論文標題 Economic impacts of Japan's newable energy sector and the feed-in tariff system: using an input-output table to analyze a next-generation energy system	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Environmental Economics and Policy Studies	6. 最初と最後の頁 555-580
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

〔学会発表〕 計14件 (うち招待講演 0件 / うち国際学会 2件)

1. 発表者名 山崎 眞次
2. 発表標題 米墨関係の新展開 移民キャラバンの出現と対応
3. 学会等名 日本政治学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 渡辺暁
2. 発表標題 移民キャラバンーその背景と参加する人々の論理
3. 学会等名 日本政治学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 前嶋和弘
2. 発表標題 トランプ政権の移民政策 ヒスパニック系移民に対する対応を中心として
3. 学会等名 日本政治学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高橋百合子
2. 発表標題 De-consolidating Democracy in Latin America
3. 学会等名 The New Agendas of Economics and Plitics in Latin America
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高橋百合子
2. 発表標題 Compra de Votos Migrantes: la Reforma Electoral de 2014-2015 y Votos Extraterritoriales en la Eleccion del 1 de Julio de 2018
3. 学会等名 X Congreso Latinoamericano de Ciencias Politicas
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高橋百合子
2. 発表標題 Buying Votes Across Borders? A List Experiment on Mexican Immigrants in the US.
3. 学会等名 The 2019 Annual Meeting of the American Political Science Association
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 前嶋和弘
2. 発表標題 トランプ外交：内政からの視点
3. 学会等名 国立国会図書館国際政策セミナー「アメリカの外交政策と日本」
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 前嶋和弘
2. 発表標題 専門職の外国人労働者ビザ「H1b」厳格化から見る「閉ざすアメリカ」
3. 学会等名 https://news.yahoo.co.jp/byline/maeshimakazuhiro/20181112-00103825
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 鷲津明由
2. 発表標題 Willingness to pay for Home Energy Management System:A cross-Country Comparison
3. 学会等名 IEEE PES General Meeting (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高橋百合子
2. 発表標題 Determinants of Vote-Buying in Mexico, 1988-2017
3. 学会等名 The 35th annual meeting of the Society for Political Methodology (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山崎眞次
2. 発表標題 メキシコの新移民政策
3. 学会等名 日本政治学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 吉野孝
2. 発表標題 トランプ政権の新移民政策
3. 学会等名 日本政治学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 渡辺暁
2. 発表標題 アメリカに住むメキシコ系移民が形成する国境を超えるコミュニティ
3. 学会等名 日本政治学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takahashi, Yuriko
2. 発表標題 Democracy, Accountability, and Clientelism in Mexico, 1988-2012.
3. 学会等名 the Midwest Political Science Association
4. 発表年 2017年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	吉野 孝 (Yoshino Takashi yoshino takashi) (00158487)	早稲田大学・政治経済学術院・教授 (32689)	
研究分担者	前嶋 和弘 (Maeshima Kazuhiro maeshima kazuhiro) (10350729)	上智大学・総合グローバル学部・教授 (32621)	
研究分担者	渡辺 暁 (Watanabe Akira watanabe akira) (20635338)	東京工業大学・リベラルアーツ研究教育院・准教授 (12608)	
研究分担者	高橋 百合子 (Takahashi Yuriko takahashi yuriko) (30432553)	早稲田大学・政治経済学術院・准教授 (32689)	
研究分担者	鷺津 明由 (Washizu Ayu washizu ayu) (60222874)	早稲田大学・社会科学総合学術院・教授 (32689)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	安井 清峰 (Yasui Kiyotaka yasui kiyotaka) (60756302)	早稲田大学・地域・地域間研究機構・その他（招聘研究員） (32689)	
研究分担者	弦間 正彦 (Genma Masahiko genma masahiko) (90231729)	早稲田大学・社会科学総合学院・教授 (32689)	
研究分担者	田中 高 (Tanaka Takashi tanaka takashi) (10217044)	中部大学・国際関係学部・教授 (33910)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関